

サミー通信[vol.5]

Sammy通信

発行 / 弁護士法人 高橋 智法律事務所 札幌市中央区南1条西11丁目 一条ビル4階
TEL 011-261-3170 FAX 011-261-3160 URL <http://www.takahashi-law.com/>
平成18年2月1日発行



Sammyの落書き帖

秘書のつぶやき。

子どもが生まれるので、初めて初売りに行くのに行きたくありません。早めにお家を出たのにお目当の格安ペーパー布団セットはすでに売り切れ！甘かったです。それでもペーパー服など大量に買い込んだので、福引で残念賞の千支石鹸を800も未広がり？もらいました。でもよく考えたら、ポケットティッシュにすれば良かったかも……。T

去年は私の中で、良くない出来事の方が多く一年となってしまうました。でも今年には向きのよいこと、新しいことを仕掛けるチャンスとこのこと。せいかくのいい一年を無駄に過ごして、気付いたら除夜の鐘が鳴っていた...という事にはならないよう、実のある生活を心がけたい。これが今年の抱負です。N

書店に行くのが好きで、本を買うのも好きですが、読むのが苦手です。すぐに眠くなってしまいます。典型的「積ん読(つんどく)です。

ベッドの横に積んだ本が寝ている間に倒れてきたら大変なことになると思うのですが、ないと寂しくなるので片付けられません。『のだめカンタービレ』は13冊目で読めたので……漫画読むへし。Y

2006年の目標

部屋をキレイにする。自分もキレイにする。身体を鍛える。美しい物を観る。良い音楽を聴く。良い香りを嗅ぐ。よく食べる。よく眠る。英語の勉強をする。海外旅行をする。国内旅行もする。なるべく幸せな気持ちで過ごす。なんとなく生きない。何か新しいことを始めてみる。

今年もどうぞよろしくお願ひします。S

友だちから教わった心理テスト。四文字熟語を3つ思い浮かべて答えてください。さて、これで何がわかるのでしょうか。まず1つ目に答えたのが「あなたの人生」。



2つ目は「あなたの恋愛」。最後が「人生の最後に思うこと」なのだとか。ちなみに私の3つ目は「自画自賛」。勘違いですまなきやいけど。友だちは大爆笑です。K

近況 Sammyから、みなさんへ。 報告

さまざまな分野のフロンチャイナルと連携しています。

税金関係、不動産登記手続関係、公正証書作成関係、不動産取引関係についてもお任せください。当職事務所では信頼できる税理士の方や宅地建物取引主任者の方、司法書士の方など、いわば「口の中」の方々と連携して仕事をしています。例えば、単に「口」に勘定科目を入力して、税務申告をするのが税理士本来の仕事ではありません。依頼者の立場に

立つて、適正な方法で節税のアドバイスをするのが本来の税理士の役割です。当職事務所では本物の税理士の方と連携してお客様に喜んでいただいております。また、不動産取引業者も同様です。複雑に権利関係が錯綜した物件や多重債務を負った方の不動産の処分をするには資格さえあれば誰でもができるというわけではありません。難しい案件を扱える

フロンチャイナルは、本当に少ないのです。さまざまな分野のフロンチャイナルと連携し、当職事務所をキーステーションとして、関連問題についても一挙に解決していく——というのが当職事務所のスタイルです。

医療訴訟も がんばっています。

現在、提起中の訴訟案件は、最近提起したものも含めて、5件（内科、産婦人科、精神科、腹部外科、脳外科）です。さらに、数件については準備中であり、この他に示談交渉中の案件もあります。

医療事件は一つがかなり重たい事件が多いことから、優秀な若手弁護士とスツで取り組むことが多くなっています。若手の刺激を受けながら、よりよい医療訴訟を実践していこうと思っています。

また、私が非常勤講師をしている医療訴訟法の講座から、3名が現行司法試験に合格しました。今年秋にはロースクール卒業資格者を対象とする新司法試験が実施され、多くの受講生が合格することを期待しています。

札幌弁護士会副会長の任期あと2カ月でまっとうできます！



札幌弁護士会副会長としての任務も、年度末までの残り約60日となりました。当選した時は気の遠くなるような任期（当選から終了まで421日間）でしたが、ゴールが近づいて後を振り返ってみると、あといつ間のまっとうも思えます。

くることがなり、その準備にも追われることとなりました。さらに、札幌弁護士会に専門分野実務研究会制度を立ち上げ、来るべき弁護士専門化時代の準備をしました。一つ一つ、今期の仕事はまさに「準備」だといふ言葉に象徴されるような気がしています。

聖地「ウィンブルドン」に行ってきました。

昨年は理事者を担当していたために「旅」に出ることができませんでした。一生懸命に弁護士会会務をかんがって来た自分への「褒美」として、あこがれのウィンブルドンに行こうという思いです。ウィンブルドンでは、センターコートのトップ選手を見ることができ、その名も知れぬ将来のシャラポワ選手のようないなアイドルを探すことも楽しみの一つです。

イギリスでは、夜行列車に乗ってリザーブ線、西の端、セントアイヴスまで



で行くというように思っています。本場のオペラを見るのも、楽しみです。6月下旬の1週間程度不在にしますが、充電をして参りますので、どうかよろしくお願ひしています。

秘書人事に異動があります。

長年務めてくれた秘書1名が産休で時期別退職事務所を離れます。秘書の産休中は、秘書補佐1名が新たに事務局に加わり、業務に当たることとなります。従って、弁護士2名、秘書4名という、従来の体制に変更はございません。

なお、当事務所では事件ごとに担当する秘書を固定するシステムを取っています。担当となられた秘書の名前を覚えていただけると助かります。

より専門性の高い 弁護活動を 展開していきます。

札幌弁護士会では今年度、弁護士の専門性を高めるために、研究会制度を発足させました。その第一号が、「企業法務研究会」です。

企業法務にはさまざまな分野がありますが、今後この研究会で研鑽を積んで、中小企業の法的支援活動に携わっていただこうと考えています。

「期待ください」。

2005年度下半期

弁護士研修ノート

みなさまにより良いリーガルサービスを提供するため、弁護士会などが主催する研修に出席し、研鑽を積んでおります。今年度後半に受けた研修は以下の通りです。

- 7月1日(金) 日弁連ライブ研修～個人情報保護法関係～
- 8月24日(水) 夏期研修・倫理研修
- 10月11日(火) 離婚・相続研修
- 10月22日(土) 日弁連ライブ研修・外部監査人実務研修
- 11月26日(土) 第7回犯罪被害者全国経験交流会
- 12月2日(金) 労働審判日弁連巡回研修

営業のご案内

平日午前9時～午後5時、土日祝はお休み
〒060-0061 札幌市中央区南1条西11丁目一条ビル4F
電話.011-261-3170 Fax.011-261-3160
地下鉄東西線西11丁目駅2番出口より徒歩3分程度
市電中央区役所前より徒歩1分程度
まずはお電話にてご相談のご予約をお願いします。法律相談は30分5000円で行っています。お気軽にご相談ください。
当職事務所のさらに詳しいご案内は、ホームページ上でも行っています。ぜひ一度ご覧くださいませ。
<http://www.takahashi-law.com/>

Lawyer's eye [弁護士目]

知っておくと役に立つ 法律の豆知識

法律を知っているか否か？
知らなかったではすまされぬ

法律を知っているか否かで
天と地ほどの差があります。

国会毎に新しい法律が作られ
たり改正されますが、われわれは
そのすべてを知っているわけではあ
りません。しかし、法律には従わ
なければなりません。
例えば山奥で暮らしていた人が、
新しくできた法律を知らなかった
という理由で、運転中に携帯電話
をにかけていても、処罰されること
はないと主張することはできな
いし、「従う必要はない」と言え
ないのです。

日々変わる法律
知らなければ損をする？

相続放棄は、被相続人が亡く
なり、相続すべき財産があること
を知ってから3カ月以内に相続を
とらねばなりません。相続財産が
プラスがマイナスから分らないとき
には、相続放棄をするかどうか、
考える期間を延長できる手続き
があります。逆に、被相続人が亡
くなつたあと、安直に被相続人の
財産を処分して法定単純承認
行為(多額の債務も相続してしま
う場合もあります。
夫婦関係では2007年に年
金の分割が認められることを知

ていれば、それを待つて離婚手続を
した方が有利です。税法上は、長
年連れ添ってきた夫婦間で不動産
を贈与しても、贈与課税されない
場合もあります。

闘いに勝つためには
性能の良い武器が必要

毎年400名程度増えている弁
護士数が、来年から1500名程
度に膨らむ予定です。また、経済
的な事情で武器を持たなかった方
たちも、司法支援センター制度の
扶助事業を利用して、センターか
ら弁護士費用を時立て替えても
らうことで武器を使えるように
なりつつです。



武器が出回ると、今度はより精
度の高い強力な武器を準備しな
さずして、素晴らしい武器は
高額かもしれないし、選ばれなかつ
た武器は、使い手を求めてさまよ
うことになるかもしれません。

法律の世界でいう
武器対等の原則とは、

法律の世界は冷徹です。法律を
知っていることを前提としてすべ
てが判断され、知らなかったでは
すまされない世界です。
法律の世界には、武器を対等に
持つ機会を与えるという武器対
等の原則があります。一般民事事
件でいえば、武器の一つである弁
護士を委任せずに訴訟に臨むとい
うことは、丸腰で拳銃を持っている
相手に立ち向かうようなものです。
拳銃を持っていても、事案によっては
弁護士も拳銃の弾が準備できな
くて丸腰の相手に負けることも
ありますが、負けるにしても、かな
り軽傷ですむことが多いです。

挨拶をめぐるあれこれ

日本人同士は愛想が悪い？

海外の人から日本人はよく愛想がいいと言
われる。
しかし、国内線を利用して飛行機から降り
るとき、客室乗務員の美しい女性が挨拶をし
ていても、ほとんどの乗客が無表情でとい
うよりも、ほとんどの乗客が無表情でとい
うよりも不機嫌そうに通り返して行く。同
じ光景はJRでグリーン車を利用して、目的
地に着いたときも同じだ。レストランで食事
をした時も、けつしてお店の人には、おいしか
つたとは言わない。

ところが国際線で外国の航空会社で出が
けたときは、目的地に着くと、日本人の乗客
は笑顔で挨拶を交わして降りていく。
外国のホテルのエレベーターでも同じだ。海
外に行くと、朝エレベーターに乗って知らない人

と乗り合わせても、必ず現地の言葉で、おは
よう」と声をかけてくる。一方国内のホテルで
はそのような光景にお目にかかることはまず
ない。道を聞いてきて、お礼を言わないで行
てしまつ人も多い。

挨拶は敵意がないことの証し？

海外ではちょっとした相手と触れると相手
は謝ってくる。国内では、人の体にぶつかろう
とお構いなしでわれ先に地下鉄に乗り込む
人が多い。

日本人のこのような特徴について、日本人
同士は民族性や歴史的に統性があり、互い
に信頼関係があるから挨拶は不要なのだとい
う人がいる。

日本のように相互の信頼関係が厚い国では



やたらと挨拶をする人はかえって警戒され、
海外では逆にお互いに挨拶をして、敵意を持
つていないことを示す必要があるというのだが、
的確な指摘だと思つ。

失われていく信頼関係

しかし、最近次々に起きる凶悪な事件の数々
を見ると、互いに信頼関係があるとは到底思
えない国になつてきている。(私の身近にある裁判
所の中で刃物を振り回す男が現れたくらい
だ。

だから、もうすぐ日本でも、自分が危険で
ない人物であることを示すために、笑顔でだ
れでも挨拶を交わさねばならない時代が
来るかもしれない。

安永弁護士が見た

あんなこと こんな場所

高校生のインターンシップのお世話をし、 一緒に裁判を傍聴しました。

先日、札幌市内の某道立高校の1年生6名が当事務所にてインターンシップにやってきました。生徒のみならず、一緒に実際の裁判を傍聴したり、みなさんの質問に答えたりしてインターンシップのお世話を無事に終えました。

裁判の傍聴を企画

昨年末に、札幌市内の高校からインターンシップの依頼を受けた際は、内容について頭を悩ませていました。そこで、事前に届けられた各生徒からの質問状を読んだ上で、質問の中で複数の生徒が「裁判員制度や刑事事件」についての質問をしていましたので、刑事事件の法廷傍聴を行うことになりました。

生徒のみならず、法廷傍聴が初体験だったので、一回結審の事件(第一回公判で判決以外のすべての手続きが終了する事件)にしようと思

い、インターンシップ当日の期日予定を調べましたが、適当な事件がなく、ある殺人事件の論告(検察側の最終意見と弁護・弁護側の最終意見を傍聴すること)にしました。

殺人事件の裁判

傍聴を決めた事件は、弁護側が主として殺意の有無を争っているところだったので、インターンシップとしてはこちらが良い素材ではないかと判断をしてみました。さて、傍聴に行ってみますと、私の予想通り、公判は検察側と弁護側の意見

見が鋭く対立したまま結審しました。双方の主張は対立したままでしたが、被告人は、最後に発言の機会を与えられた際、殺意の有無は別として被告人の行為によって被害者が死亡したことについて、被告人とその遺族に対し、謝罪の意思を表明していました。

現実の事件は生々しい

傍聴の後、刑事裁判の手続きの流れとその日傍聴した手続きの位置づけをざっと説明し、彼らに感想を聞いてみたところ、現実の事件の生々しさに触れて驚いているという意見が大半でした。

お昼休みを挟んで、午後は事務所に来てもらい、裁判員制度のほか、弁護士の仕事の内容に関することがらなど、それぞれの質問に対する回答を行って終了しました。

私自身、インターンシップのお世話は初めてでしたが、高校生のときと同じような就業体験ができる彼らをつらやましいと思うと同時に、他の弁護士の法廷を傍聴するのにも久しぶりでしたので、とても新鮮な経験となりました。

自動車事故に関する研修

本年10月、丸二の日程で千葉県内にある「自研センター」という施設で交通事故に関する研修を受けました。車同士の衝突事故の車体の損傷状況から、事故状況を自動車工学的に推測するというのが主たるテーマでした。そのため、物理的な計算式などが続出して、純文系人間かつ高校物理未履修の私は、やや混乱してしまいました。まあ、この最大のイベント(?)である、車の衝突実験も見学し、とても賢くなつたような気分での研修を終りました。



安永 美穂 / 弁護士
今後、自動車事故案件を取り扱う上で、大変役に立つ研修でした(もちろん、復習は必須です!)

ほのぼの味わう美味し味の 旅と味の思い出



日本では、さまざまな品種改良や保存技術により、昔前には期間限定でしか食べることができなかった果物が食卓に並び、食べ物で季節を感じるものがなくなってきた。「期間限定」という付加価値がドイツのアスパラガスをさらに美味しくしている。

アスパラガスは何時ヨーロッパに行っても食べられる、というものではない。食べられる季節が限られているのである。

イタリアに視察にでかけた時、デルタ・ポトという湿地にある灯台で食べたイタリア料理が忘れられない。湿地にたえずむきれいな灯台の下がレストランとなっていて、船でレストランまででかけるのだ。周囲の風景、灯台という風情のある場所で食べたイタリア料理には、「風景」「風情」という付加価値がついていて、できごと記憶に残るくらい美味しかったのではないだろうか。



弁護士の 本棚散歩

出張の行き帰りに、
乗り物の中で時間を忘れて
読み終えてしまった
作品たちを紹介します。



北条民雄は小森氏病に冒されながら、第1回文学界賞を受賞した作家である。『火花』は北条民雄の生涯を、川端康成との交流関係をまじえながら、隔離政策がとれたけ仕絶なものであったのかを克明に書いている。読破後、巻末の年表や写真などみると胸に迫るものがある。

『走れメロス』や玉川上水での入水自殺が有名な、太宰治の生涯について知っている人は少ないのではないだろうか。『山椒魚』や『黒い雨』の井伏鱒二についても作品だけしか知らない人が多いだろう。

太宰と井伏は長い間師弟関係にあり、井伏は太宰の後見人ともいうべき立場だった。ところが、太宰の遺書の下書きには、みんないやしい欲張りばかり。井伏さんは悪い人です。

『火花—北条民雄の生涯』
高山文彦(飛鳥新社)

お薦め度
お役立ち度

『ピカレスク 太宰治伝』
猪瀬直樹(小学館)

お薦め度
お役立ち度